

標 題 | 松江と安来の合同で「スマート農業」をテーマに視察研修会を開催！！

(ダイジェスト)

11月18日、松江市農業士会と安来地方農業士会は合同で視察研修会を開催し、農業士、新規就農者、研修生、農大生、関係機関等51名の参加がありました。今回は普及しつつあるスマート農業とは何かを学び、今後、就農する若い農業者、新規就農者をフォローする農業士にも役立ててもらおうと企画しました。

両管内とも施設園芸で環境制御システム等の導入が進んでいますが、その一方で、導入を検討している生産者からは、「困った時すぐに師匠のほ場が見たい」、「GAPに応用したい」、「遠隔操作がしたい」といった声があることから、これらに対応出来る研修会を企画しました。

講師には、農業技術センタースマート農業スタッフを招き、現場の声に対応出来るような機器について、導入費用を含め具体的に提案してもらいました。また、技術普及部からは「みどりクラウド」を活用したスマート普及活動の取組を通して、栽培に活かすデータの見方について解説がありました。

続いて、実際にスマート農業を活用されている両管内の認定新規就農者2名に事例発表をしていただき、松江市のミニトマト生産者からは、集出荷場にしながらハウスの様子が確認できるため、安心して調整作業に集中できると報告がありました。また、安来市のイチゴ生産者は環境モニタリング装置を自作し、近隣の生産者とデータを共有することにより、他の生産者と自身のデータを照らし合わせ、意見交換することで双方のスキルアップが図られることにメリットを感じておられました。

その後、両管内の現地2カ所に出向き、導入施設を視察しました。

参加者からは、「とても勉強になった」、「早速ネットワークカメラを取り付けたい」といった声が聞かれ、また、研修会終了後も講師に質問する姿が見られるなど、スマート農業への感心の高さが窺えました。

今後は、関係機関と連携しながら、各生産者のニーズに適したシステムを提案していきたいと考えています。

